

また新しい学期がはじまりました。否が応にも取り組まなければならない道徳の授業。

学びが!があり、かつ楽しい「道徳の授業」を 一緒に考えています



今度の学習会、1つは、中村先生の実践です。今年度どこの学校でも授業研が活発ですが、その一環として取り組まれた2年生の教科書教材「おれたものさし」(東書)を使った渾身の実践です。

もう1つは、今年度から小学校で始まった特別の教科道徳の1学期の取り組み、評価など、実際の実践を踏まえた実態を報告して頂き、交流し合い、今後の取り組みの見通しを考えていきたいと考えています。

日時: 10月11日(木) 18:00~20:30

場所: 新所沢公民館 学習室6号

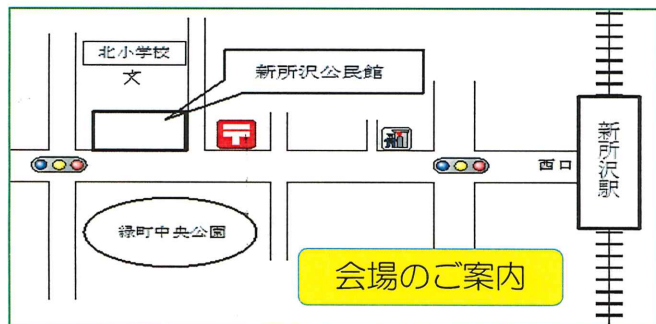
内容: 教室からの報告

中村 潤さん(富士見野市小学校教諭)

嶋原 浩美さん(所沢市小学校教諭)

参加費: 300円(資料代・会場費・コーヒー・ケーキ付)

【前回の感想から】地域の道徳の取り組みを聞く事が出来ました。一つの授業を検討し、押し付けではなく、子どもの意見を引き出すために意見を聞き、学ぶことが出来ました。価値観の違いがあっても当然であり、発問や考えさせる場面を熟慮しなければいけないのでしょうか。改めて教材とねらいを大切にしていきたいです。(N.J) 分断読みについて改めて考えることが出来ました。何を(落としどころにするか)ねらってやるかによって子ども達の反応を予想しながら、組み立てていく必要があるなど感じました。また使用する教材についても子ども達にとって、現実味のあるものを選択していくことで、より自分に引き付けて考えられると思いました。(E.A)



主催 : 子どもたちと共に楽しい道徳の授業をつくる会

共催 : さいたま教育文化研究所 教育課程と授業づくり研究委員会

連絡先 : tanosiidoutoku@jcom.zaq.ne.jp